

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦

創立 1986年



第1637回例会

令和2年9月17日 (12:30～13:30)

○ソング

- 我等の生業

○スマイルBOX

- 吉野敬之会長（松永君、緑川君例会出席ありがとうございます。会員の元気な姿を見えるのは大変元気が出ます。皆さんお忙しいでしょうが是非参加が増えますよう期待しています。）
- 堀田一彦幹事（とりあえずスマイルします。）
- 根本あゆみ会員（HMではアジアンをご利用いただきありがとうございます。コロナ禍で居酒屋はお客さんがいません。三密になりようがない状況ですのご安心してご来店下さい(笑)）
- 鈴木孝幸会員（ホームミーティングの4班の発表者、運天会員、楽しく発表して頂きありがとうございます。時間もぴったり、さすがです。）
- 宮本多可夫会員（新人候補者、吉成真五郎君、ようこそ。ホームミーティングの報告御苦労様です。）
- 永野文雄会員（ゲストとしての吉成真五郎様、早い入会を楽しみにしています。ホームミーティング発表者の皆様ありがとうございます。）
- 運天直人会員（おかげ様で9月20日に弊社コインランドリー脇でアイフォン修理店をオープン致します。10月には格安キャリアの店もオープン致しますので、皆様のご利用を心よりお待ちしておりますので、よろしくお願い致します。）
- 金田昇会員（ホームミーティング報告を楽しく聞きました。おつかれさまでした。今夜は分区のガバナー歓迎会です。）



▶第1637回例会出席状況 (R2年9月17日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	36名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	53
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	73.6%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



吉野敬之会長

皆さん、こんにちは。今週も例会に多
数ご出席いただきましてありがとうございます。
くだらない話なんですけど、マス
クをして歌を歌いますとなんか私、歌が
上手くなったのかなと若干思うんですが、
カラオケに行くとか大体80点以上出たことがなくて、実は私
は非常に歌が下手でカラオケが苦手でございます。よく飲
み屋で80点以下はバップねと言われて、ほとんどバップを
払っていたんですけど、最近コロナになってマスクを付け
て歌い始めたら、なんか自分の歌が非常に上手く聞こえて
きてるので、もしかしたら私の歌が向上したのかもしれない
し、単純にマスク効果かもしれないですけど、もし次
カラオケに行く機会があったらお聞かせしたいと思います。
今日は久しぶりに、多分今年度初めて大変お忙しい松永さ
んが出席いただきまして大変ありがとうございます。それ
と、私をやきもきさせた月一必ず出席と言っていた緑川君も
ですね、じらしにじらし今月の第3週にご出席いただきま
してありがとうございます。このように皆さんの顔を見ら
れて非常に楽しいものでございます。世間では菅新首相が
誕生いたしました、私は親戚でもないんであんまり体制に
影響ないんですが、総裁選前に、総選挙どうするかという
話で菅新首相は総選挙はコロナ対策の後だと、すぐやらな
いというようなお話をされてましたが、いろんな方のコメ
ンテーターとか、周りのそういう専門家の方のご意見を聞
くにつけ、10月11月あたりに早期解散をするのではないか
というご意見もよく聞かれます。万が一、総選挙になると
これまたまだ今期出席のない上杉議員もきっと白河に帰っ
てきて例会に参加していただけるのかなと。もし、総選挙
になったら総選挙も私には大した影響はないんですが、上
杉議員の顔が見れるのかなと思ってちょっと楽しみにして
る次第でございます。今週は非常にいろいろと予定が詰
まっております、本日はガバナーが今週この日程近辺で
公式訪問を県南分区をずっと回る予定でございます。それ
に合わせまして今日、歓迎会というものが夜ございまして
矢吹で行われる予定でございます。それに参加されるメン
バーがうちのほうから4人5人行くようになってるんですが、
遠藤ガバナー補佐が当然その席に列席されるわけですが、
今年の方針として分区内の各クラブに最低4回は公式メー
キャップをしなさいという指導をいただいているようでござ
います。自分のクラブの活動だけでも忙しいのに、分区の
公式4回というのは非常にハードだなというお話をしまし
たが、先だって皆さんにご報告したように、次年度、金田
会員が当クラブからガバナー補佐として頑張っていたく
というふうになるわけですから、日程的にもいろいろ大変

かなというふうにそんなことを思いましたので、来年補佐
幹事をされる約2名の優秀な方、是非ガバナー補佐を支え
て頑張っていただきたいというふうに思った次第でござ
います。また、明日は米沢中央さんとゴルフコンペとい
うことで、福島のほうでゴルフがありますので参加されるメ
ンバーの方はお忙しい中大変でございますけども、是非交
流を深めに行ってまいりたいというふうに思っております。
本日のプログラムは、先週に続きましてホームミーティ
ングの報告会ということになっております。先週もお話した
ように、ちょっと難題なテーマを出させていただいたわけ
ではございますが、皆様からの貴重なご意見を賜れる良
い機会だと楽しみにしております。最後にその際にお話
をしましたが、くれぐれも余剰時間を余さないように、与
えられた時間をたっぷり使って発言をしていただきたいと、
くれぐれもお願いをして今週の会長の時間とさせていただきます。

■幹事報告

堀田一彦幹事



○国際ロータリー第2530地区2020-21年度
ガバナー事務所：青少年奉仕委員会セ
ミナー出席カードについて

○国際ロータリー第2530地区2020-21年度
ガバナー石黒秀司、RLI委員会鈴木和
夫：ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）パートII
開催のご案内

○公益財団法人ロータリー米山記念奨学会事務長 柚木裕
子：ハイライトよねやま246

○国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナー事務
所：第7回日台ロータリー親善会議福岡大会開催中止
のご報告

○国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナー事務
所：第49回ロータリー研究会の案内

○国際ロータリー：Paul Harris Fellow

○白河ロータリークラブ：年次計画書の送付について

■委員会報告

○ゴルフ愛好会

運天直人会長

皆さん、こんにちは。ゴルフ愛好会からご連絡差し上げ
ます。先程、会長からもありましたように明日、米沢中央
ロータリークラブとの交流ゴルフコンペがでございます。場
所は「パーシモン」というゴルフ場になりますので、参加
者の皆様には通知が行ってるとお思いますので明日それぞれ
便乗してよろしくお願いたします。当日、向こうに集合
が8時40分になりますので、くれぐれも遅れないようによ
ろしくお願いたします。

○S A A

運天直人S A A

S A Aのほうから連絡差し上げます。本日、出欠をいた

でしたがなかなか出欠をいただけなくて食事の手配がちょっと困る部分が出てきますので、皆さんもう一度自分の出欠を確認していただいてご連絡をいただきますようよろしくお願いいたします。

○社会奉仕委員会

藤田龍文委員長

皆さん、こんにちは。先日、会員の皆様にファックスでご案内させていただきました毎年恒例の猪苗代の水草取り、そちらのご案内を流させていただきました。9月25日までに一応締め切りで出欠のほうを出していただければと思います。実施日は10月3日となっております。今年はコロナの関係がありまして、近隣の入浴施設が全く使えないという事なので、ちょっと天候の具合はまだ読めないんですが、水草の掃除を終了後は直ちに白河のほうに戻ってくるというような、途中お食事をしながらということになるかと思っておりますので、そちらの参加される方はお着替え等も準備されながら参加していただければと思いますので、是非多くの参加をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム

ホームミーティング報告

○第4班

運天直人会員



改めまして、こんにちは。4班のホームミーティングの報告をさせていただきます。日時は、令和2年9月16日ということで、昨日させていただきました。「タントゥ」にて18時半よりさせていただきます。参加者は、班長に鈴木孝幸エレクト、成井パスト会長、山口パスト会長、渡部勝也会員、阿部克弘会員、上杉謙太郎会員、書記に私の7名でさせていただきました。先程、会長からもありましたように上杉会員のほうが、なんとかホームミーティングには来たいということで、時間を取っていただいて合わせた都合上、昨日という時間になってしまいましたが、一応例会には顔を出さなくてもホームミーティングには顔を出しましたとお伝えくださいということで言っておりましたので、一言申し添えておきます。テーマ1の「35周年記念におこなってみたい事業は」ということで、皆さん討議をさせていただいたんですけども、渡部会員のほうから5周年から30周年までの事業すべてレクチャーいただきまして、さすがすごいなあというところで詳細はあんまり覚えていないんですが、それを含めて今後どうしていこうかという話し合いをさせていただきました。現在、コロナの影響で普通の講演会とか座談会とかの開催は難しいと思われるので、今だからこそできることは何かないだろうかという意見が多数を占めております。今までみたいに形式ばった各種団体でやるような式典とか、そういう事業とかというのではなくて何か新

しいアイデアはないかという中で、コロナだからこそできること。ズームとかネットを使った事業はできないだろうかということ、班長のほうから白河の音楽の底上げという観点から、小中学校を対象に事業出来ないかということがありました。今、せっかく練習したり、良い楽器を持っててもなかなか披露する場がないということで、前にも楽器を贈る事業をさせていただいたと思うんですが、そういった贈る事業だったり、またそれを修理したり、リニューアルするを通して、そのやってあげた学校にネットで演奏会をやってもらう。それをみんなで配信する。もっと言えば、そういう例えば、一小、二小、三小とあった時に、一小が演奏会をするものをビデオに撮ってネット配信する。二小がビデオに配信するという形で、ネット上でコンクールみたいなことができないかというお話がありました。それを使って視聴してもらって、視聴者に審査をやってもらってそれでグランプリを決めたら面白いんじゃないかということとか、各学校に演奏する場所、例えばコミネスをクラブのほうで借りて、そこにどここの学校この時間に来てくださって、それを無観客ですけどそこで演奏してもらって、それをクラブのほうで編集してそれを同じように配信していくと。そういったことが、音楽の底上げにもなるし、今この時代この時期だからこそできる一つの事業じゃないかということで、とても有意義な話し合いができたと思います。前回もありましたように、海外に何かを贈るといふ部分もあるみたいですけども、そこはそれで賛同させていただきながら進めていければいいなというお話でした。テーマ2の「現在から未来に向けて私が考える白河西ロータリークラブの存在意義と在り方について」というところですけども、ここはまず成井パスト会長からやはりロータリーの存在意義は人と人との関わりであり親睦が一番ということをいただいて、山口パスト会長からも年2回のホームミーティングは、白河さんとか南さんはやっていないこのクラブだけの行事であるので、そういう意味ではこれを続けていってほしいというお言葉もありました。今後の存在意義として、長期に渡って何か携わっていくことのできるものがあればいいなという意見の中から、渡部勝也会員のほうから例えば花見山とか千本桜みたいに、年々少しづつ何かおこなって10年後20年後に何か形を残せるような、そんな手本になるクラブになりたいなという話がありまして、そういったことを大々的に白河西クラブがやりましたと配信するんじゃないかと、南湖みたいにすぐそこにあるんだけど当たり前にあるんだけど市民の憩いの場になっている。いつの間にかそういうふうになるところを西クラブがやっていければ一番いいななんていうお話があって、非常にメンバー皆さんやはり長年やられている方なので、すごく有意義な会議をさせていただきました。その中で、最後に余談になりますけども上杉会員が来ていただいたので、この辺で国会の状況をどう

だなんて話はあったんですけども、取り立てて皆さんにこんなネタありませとという上杉会員のほうからありませんで、ただ笑い話として上杉会員がお酒をつくる時に手を滑らせて、ボトルを落としてしまったんですけど、それが机の上に落ちただけで下に落ちなかったんですね。それで皆さん、そこでいやすが落ちなくなると、落ちない男になったなというお話がありました。しかし、本人は落ちないのはいんですけど、話に落ちがないのも酷ですよねという話でちょっと笑ってたんですけども、そんな中で最後に成井パスト会長のほうから阿部会員の髪の毛の話がありまして、阿部会員はふさふさしてるなんて言って、アベランスなのかっていうダジャレもありまして、それを私がここで発表しなきゃいけないというこういう落ちもありまして、楽しく昨日は過ごさせていただきました。そんな中で、ミーティングということで本当に私ももう5年くらいこのミーティングに携わらせていただきましたけども、笑いあり本当に勉強することがありということで、昨日は本当に有意義な時間過ごさせていただきました。ありがとうございました。これで4班の発表を終わります。



○第3班

松永紀男会員

皆様、ご沙汰しております。本当に初めまして。本当に申し訳ございませんでした。長期欠席しております、心を入れ替えるかどうかはちょっとわかりませんが、努めて出勤させていただくようにしますので、よろしくお願いたします。藤田和克班長率います第3班のホームミーティングは、9月7日の月曜日、創作懐石料理美味しい「タントウ」にて開催させていただきました。仁平喜代治会員、宮本多可夫会員、金田昇会員、藤田和克会員、そして私松永の5名にて開催させていただきました。当日、私がホームミーティングがあることを失念しております、書記でありながら40分も大幅遅刻をいたしました。重ねてお詫び申し上げます。ということで、私に対する残念な雰囲気からスタートした3班のホームミーティングではあったんですけども、内容に関しては大変今までに参加したことがないというくらい硬派なといいますか充実した内容でした。ちょっと長くはなりそうなんですけども、その辺の内容をかいつまんでお話させ

ていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。議題1について、金田会員よりロータリーではかつて山の上の植樹だとか、南湖の桜の保全活動といった環境事業をやっているの、そういった歴史伝統と関連した継続事業を実施したい。また、新一万円札の発行を見据えて渋沢栄一関連事業を目玉にしてはどうか?ということで、南湖神社を中心に据えて深谷クラブとの連携事業も図れる。渋沢栄一記念展示会を実施して、実施期間中にイベントのようなことをやってもよいし、またIMの開催も見据えて記念シンポジウム的なもの実施するのも一興であろうというような話です。宮本会員より、南湖神社に渋沢栄一と白河の関わりについての碑文を設置してもよいだろうと。最近、トランプさんに代表されるように金を儲けることについて手段を選ばず、儲ければよいという風潮が蔓延してると感じる。倫理観を持った経営や、万人の為になり人に尊敬されるような金儲けを学ぶのはロータリアンとして必要なことであると。渋沢栄一を皆で学ぶことは大賛成。何故、このタイミングで最高額紙幣が渋沢栄一になったか、その意味を我々は考えるべきだろうという話です。仁平会員より、ロータリーならでの社会奉仕事業が最近少ないように思う。ロータリークラブとは本来、地域はもちろんとして国際貢献も視野に入れなければならない。これからの少子高齢化を見据えた時に、我々がもっと地域や社会、もちろん役所等も含め、提言できるようなことをやりたいと。全体として、渋沢栄一や松平定信公、上杉鷹山といった社会経済人から学ぶべきことは多いはずだ。コロナ禍で社会が変わろうとする中で、これから変わろうとする社会に何かを提言できるようなことができると考えるということがありました。議題2に関して宮本会員より、会の永続性を真剣に考える時、予算の問題は常に考えておかななくてはならないことである。会費が安いのか高いのか、適正なのかそうでないのか、運営費を集める手法や名目、理由付けについて常に考えておく必要があると。国際貢献事業については、西クラブの弱いところかもしれない。本来、ロータリーとしては押さえておくべき基本の部分であり、常に我々はこのことを意識し続けるべきであろう。まずは、地区等に出ていっていろんな活動を見て刺激を受けることだと。参考にすべきは参考にする。我々は町づくりも自分たちで考え実践する集団なのだから、日頃の会話の中で今日のような話が出てこない駄目なのではないかというお話でした。金田会員より、会費については薄く広くわかりやすくが基本であろう。特にわかりやすさでは、例えばユニセフについてはあれだけコマーシャルをぶって、どれだけ実支援に金が行ってるのかがわかりづらい。その点、我々は自分たちの金を自分たちで使うのでわかりやすい。我々はどこであろうと、アフリカであろうと必ず現地に行つて支援する。町づくりに関して、西郷を含めた広い意味での西郡内での連携を促進するような活動がしたい。

例えば、行政区にしても政治選挙区割りにしても、現状は我々の生活や経済活動と一致していない。わかりやすく言えば西郷は先般の大合併の際、白河と一緒にいたいけれどももししたら4区になることはなかったのではないかなというようにお話しもありました。民間もそうだが、行政や議員さんも巻き込み、まずは交流をより高いレベルに持っていくべきであろうというお話でした。仁平会員より、ロータリーとして社会に対して常に働きかけをして提言し続けることが大切だろう。先の金田さんの話にもあるように、今、地域は広域的な経済圏にしないと成り立たなくなっている。西郷でも若い世代は白河と一緒にいたいと思っている人が多い。今後は若い世代が安心して住み続けられるような社会作りを主導していけるようなロータリークラブであるべきであろうという内容でした。最後に、藤田班長のまとめとして渋沢栄一やりましょうとのことです。また、藤田班長のほうから年をとっても仕事をしている人のほうが、造り物で体を鍛えている人よりも健康であるというお話がありました。さらに、肉を食べる人は年をとっても丈夫であるということで、保険関係のお仕事ならではの大変説得力のある講話を最後に聞かせていただきました。ただ、ちょっと気になる点としてがんを克服された金田会員のフェイスブックを見るにつけ、最近、かけ蕎麦しか金田会員が食べておりませんので、大変心配になりました。おそらく夜はステーキを食べられているのだらうなと思っております。以上、3班の報告となります。大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。

○第7班

藤田龍文会員



皆さん、こんにちは。7班の発表をさせていただきます。7班は9月1日火曜日に、場所は「タントゥ」にて行いました。班長は鶴丸会員、書記は佐川会員、そして佐藤清作パスト会長、関谷亮一パスト会長、藤田の5名で行いました。本来であれば、書記の佐川さんのほうが今日発表するというので、前日まではこういった原稿をいただいて、発表するわけだったんですが職業奉仕で公務ということなので原稿をお預かりしましたので、あとは藤田君の意見を交えながら報告していいよということなので、ちょっと原稿の中では女性の言葉とか混ぜちゃって、ちょっと不思議な表現になるかもしれませんが、織り交ぜながら発表していきたいと思っております。コロナの不安漂う中、お二人欠席、書記の佐川は職業奉仕で40分程遅れてきましたが、この前半の40分がほとんど核心に触れるいい時間であって、40分以降は大体ある程度のアルコールの関係でちょっと一番大事なところは書記の佐川さんいっちゃらなかったの、その後の文章にも影響してくると思っております。しかし、互いの信頼関係のもと透明なアクリル板の仕切りを外して和やかに「タントゥ」さんの

美味しいお料理に舌鼓を打ちながら楽しく杯を傾けホームミーティングを行いました。テーマは二つでしたが、テーマ2からは「現在から未来に向けて私が考える白河西ロータリーの存在意義、在り方」という難しいテーマでしたが、ほとんど皆さんスルー状態で、そんなことはなかったですよ。前半の40分で結構喋ったはずなんですけど、ちょっと書記の佐川さんいっちゃらなかったということで、こういう原稿になってるということなんですけど、もっばらテーマ1の「35周年記念事業としておこなってみたい事業」の話になりました。30周年の時はタイに絵本を届けに行ったり、日本の他のロータリークラブと一緒に合同でという形だったと思うんですけど、そういったものをおこなったようだと。今回、35周年は渋沢栄一をテーマに深谷ノースロータリークラブにも協力してもらい記念事業をしてみてもどうかという話に全体の総意としてなりました。来年は、NHKの大河ドラマで渋沢栄一公が取り上げられるということですので、主役のイケメン若手俳優の吉沢さんという方が私は好みだと、本当にここに原稿に書いてありますが。カッコとなっておりますね。そのほかに2024年、渋沢栄一が描かれた新しい一万円札に切り替わるということになっているということで、時の人ということで渋沢栄一に光を当ててみたらいかがということで班の総意となりました。そのほか、いろいろな渋沢栄一の話や諸先輩方から聞きながら、どうも渋沢栄一は地元深谷市ではあまり評判が良くないのではないかと。雑談のレベルでですね。何故なら、英雄色を好むで沢山の人のパトロンで子供が沢山いっちゃって、その子供たちがなかなか光が当てられなかったという不遇の子もいるという話を沢山聞いたと。その部分も女性の私から見れば、ああそうなんですけど、男心はわかりませんということでした。これ、佐川さんのですよ、私ではありません。あとは、そのコロナの話やロータリーは人生の嗜好品のようなものなので、仕事や家庭まずそちらもしっかりと努めてこういった時期にホームミーティングを例えば2回ではなく1回にしてみるとか、その班編成を少し考えてみるとか、そういった創意工夫も大事なんじゃないかというようなことが書かれています。そういったところで、7班は諸先輩のいろいろなやはり前の班にもあったように、過去の周年のいろいろな事業の思い出話やいろんな経過をお聞きしながらやって、どちらかというと歴史を振り返ったり、いろいろな経験談を多く聞かせていただけたホームミーティングとなりました。テーマ2のほうに関してはほとんどなかったんですけど、35周年はそういったところで強くやっていったらいかがなものかというような報告となりますので、よろしく願いいたします。

○第8班

矢田部錦四郎会員



皆さん、こんにちは。最近マスクして眼鏡かけてると、写真なんか撮るとしわが見えなくて20歳くらい若くなったような感じがします。先程、マスクして歌ったら上手くなったなんていう人もいたんですが、それはやはりお互い勘違いしてるかもですね。ということで、なんか時間が結構あるみたいなんですけど、簡単に8班の報告をしたいと思います。まず、8班は高畠会員が班長、須藤正樹さんが書記、島田会員、片倉会員、齋藤孝弘会員、兼子聡会員と私で開催しました。今回は、書記の須藤さんが来る予定ということでSAAの立場もあるみたいなので、あまり恥かかせたくないで最後までちょっと来れなかったみたいなんですけど、片倉会員も欠席、島田会員も欠席ということで、班長と私と兼子聡さんと齋藤孝弘さんでお話を進めておまして、書記が来ない中、書記を誰やるということで多分私に誰も命令できないと思って、じゃあ私やるからということでお話をまとめさせていただきました。一応、書記が来るということで皆で雑談していたんですが、やはり開催時間もできるだけ短くしようということで、こういう時期だからということで大体2時間を目標にホームミーティングを開催して、飲み足りないメンバーは3人くらい二次会に行ったようなんですが、私は早く退散させていただきました。今回のテーマをいただいた時に、どうしようということで取りあえず今年のクラブの目標として「35年目の再構築ロータリーの源流へ」ということであるので、前に進むよりはこういう状況を見て、たまには立ち止まっていると考えた中で我々もどうするかということと一緒に考えなければいけないのかなということで、会としても結構難しい題材だったんですが、多分8班だからみんなが多分言ってくるようなことを繰り返しても皆8回も聞くようになるから違う視点でいこうということで、重なる部分はちょっと省いてお話させていただきます。まず「35周年記念としておこなってみたい事業」ということで、今回コロナの影響で周年をどうするかはまだ事業内容が多分決まっていなくてこういうテーマを振られたのかなと。私も実行委員会のメンバーですが、その任命されてもまだ招集されていないということでは、いろんなテーマ何をやるかが今、模索中になってるのではないかなと。だから、我々は周年事業に対して会長方針が決まったら、当班では事業が決まれば全員で事業をサポートしていこうということで、皆さんが言われた洪沢さんとか南湖関連とかいろんなものに関してはやはり同じような意見は出てましたが、取りあえず全力で決められたものは取り組んでいこうということで、35周年のほうは簡単にまとめさせていただきました。二つ目のテーマも、なかなかこれ難しくてロータリーの価値観とかそういうものに関しては、この辺は私の考え方でお話させていいですよと

いうことで話したら、やはり皆さんもどう話していいかわかんなかったんで、この辺私の考え方でちょっと報告したいと思います。「現在から未来に向けて私が考える白河西ロータリークラブの存在意義の在り方」このことについて、どう考えるかの話の切り口として私が考えまとめてみました。国際ロータリーの一会員として会費を納め、奉仕の理想、四つのテストと共に奉仕活動に取り組んで、世界中の弱者を助けてきた団体組織として、私たちが自らの活動を理解することが大切で存在意義の討論は必要ないと思います。地域の青年部や青年会議所、その他の地域の諸団体と活動内容が違います。地域で認知度も低いかもしれませんが、私たちは国際ロータリーの理念の基づいて、RI会長、地区ガバナー、地区会長方針によって活動しています。こういう時期だからこそ、皆で助けあい、協力し合い、親睦、友情を大切にして奉仕活動に専念することが大切だと考えています。今年は先程も言いましたが、一度立ち止まって今までのロータリー活動の歴史を確認する時期にも良い時期だと思います。白河西ロータリークラブの35周年を振り返り、先程もありましたけど渡部さんのようにこう頭に入ってる人はずっとと言えるんですが、30周年の時、誰が会長だったとか、どんな事業だったとか、25周年の時はどんな事業だったとか、みんなで振り返ったんですがあんまり記憶も定かじゃないんで、やはりこの時期に各周年の事業や、その時の会長の思いや、その周年の間を引き継いだ歴代会長の足跡をきくことも大切だと思います。我がクラブも世代交代も進んできていると思うので西ロータリークラブの歴史を知ること、当クラブの若いメンバーがこれからの進むべき道を考えて引き継いで活動してくれると思います。また、不易流行、継続見直しを考えることも必要だと思います。今回のテーマは非常に難しく切り口がなかなか大変でしたが、久しぶりに普通こう会えないメンバーと一緒にゆっくりと雑談、密談にはならなかったんですが楽しく懇親を深めたことは良かったと皆さん感謝していました。今、いろんな団体がパソコンを通して当事者同士が人と人が会話できる機会が本当に少なくて、今まで何気なく人と話してた「こんにちは。お茶飲みに来たよ。」ということも言えた中で、なんか言っていいのか悪いのかどうしていいのかわからない中で、ロータリーのメンバーと久々にゆっくりとこうお話してきたことは、本当にホームミーティングの意義があったのではないかなと思ってます。高畠班長には大変お世話になりました。そして、場所も本来は「赤門」さんでやる予定でしたが、社員さんのお父さんかなんかが急に不幸があって、「アジア」の根本さんのほうに急にお世話になって会場を確保していただきました。ありがとうございます。